

みんなで  
つくる

## 適切で丁寧なかかわりのスタンダード

～児童・生徒のくらしの物語を知る～  
～児童生徒の困りを見える化する～

### 児童生徒とのかかわり

#### ① 障害特性に配慮したかかわり

誰にでもわかりやすく! 使いやすい支援!!  
ユニバーサルデザインを大切にしているよ。



##### 【実践例】

- ・シンプルで分かりやすい言葉で伝えるようにしている。
- ・児童・生徒の視点に立って視覚的にわかりやすく説明をするようにしている。
- ・かかわる時には、事前にこれから何をするのかを伝え生徒が見通しを立てられるような工夫をしている。
- ・どんな時に笑顔になるのかなど、児童・生徒の好きなことを知り、好きや得意を活かした教育活動を大切にしている。
- ・児童・生徒の実態に応じた教材教具を使用し、わかりやすい授業を行っている。
- ・「できていること」を認め、褒めるようにしている。

#### ③ 児童生徒の行動上の課題に対する適切なかかわり

みかんねこ



行動上の課題の背景にも目を向けて、  
気持ちを受け止め、望ましい行動を伝えているわ。

##### 【実践例】

- ・問題行動についてマイナスに捉えず、児童・生徒の気持ちを優先に考えている。
- ・本人の気持ちをまずは一旦受け止める。「そうだったんだね～」「嫌だったんだね～」「わかるよ～」などと伝えた上で指導するようにしている。
- ・児童・生徒からの発信に対して、表出を受け止めつつ、状況に応じて、対応可能か・今は難しいか・正しいか・危険かなどを考慮しメリハリある支援をしている。
- ・適切な行動ができるように「〇〇しようね」などとふさわしい行動を促すような言葉かけをしている。

## 【仮案】

#### ② 人権に配慮したかかわり

児童・生徒一人ひとりを  
かけがえのない個人として尊重しているよ♡



うめちゃん ともちゃん

##### 【実践例】

- ・「〇〇さん」とさん付けて名前を呼ぶようにしている。
- ・児童・生徒に対して、丁寧な言葉づかいで話すようにしている。
- ・児童・生徒の話を傾聴し丁寧に関わるようにしている。
- ・年齢や学年を意識して、適切な距離感、言葉選びをするように心がけている。
- ・言葉でやりとりができる児童・生徒が少ないので表情や言葉数、動き等の様子から体調の変化や気分、訴えたいことを読み取るようにしている。
- ・本人の意思を無視するようなかかわりにならないように、与えることはせず、選択できるようにしている。
- ・身の回りの介助・支援を行う前に「〇〇しますよ」「〇〇してもよいですか?」など言葉をかけるようにしている。
- ・自発的な動作(立たせるとき、児童自らの動きを待つなど)を待つように心がけている。

#### ④ 安心安全に配慮したかかわり

児童・生徒の視点に立って、気持ちを考え対応。  
児童生徒に関する安全確認は複数で行っているよ。



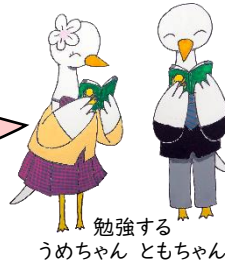
ユノッシー

##### 【実践例】

- ・体を動かす際は、指先からやさしく触れて、緊張をほぐすようにしている。
- ・乗降時、児童・生徒が怖くないか、痛みを感じる辛い体勢ではないか考えて行っている。
- ・一人だけに集中せずに、全体を見るようにしている。
- ・個室で児童・生徒と教員が一对一にならない状況を作っている。
- ・医療的ケアの個別マニュアル作成時に、その児童・生徒の特性や背景を配慮事項に盛り込むように努め、ケア時に活かしている。また、実地研修・引継ぎ時に大切なことが引き継がれるようにしている。

## 教員間のかかわり

相手を思いやり、対話を大切にしています♡  
ていねいな情報共有で  
「チームで対応すること」を目指しています!!



### 【実践例】

- ・明るい「あいさつ」を心がけている。
- ・年齢や経験年数に関わらず、敬語や丁寧な言葉遣いを心がけている。
- ・「ありがとう」と感謝の言葉を忘れないようにしている。
- ・意見の押し付けにならないように、相手の意見をよく聞くようにしている。
- ・相手の取り組みに対して前向きに評価するようにしている。よいところを見つけて伝えるようにしている。
- ・授業のサブティーチャーを努める時は、メインの教員の意図を汲み取り、授業のしやすさの手助けになるようにしている。
- ・「時間を預かっている」という意識で、会議の前に意見を可能な限り整理して、会議を短縮できるようにしている。
- ・児童・生徒下校後、その日の振り返りを毎日行い、教員間の情報共有に努め、翌日から対応ができるように工夫している。
- ・対話を大切にし、気になることは曖昧にしないようにしている。
- ・「チームで動く」子どもたちを教員みんなでみていくスタンスを大事に情報共有している。

## 保護者とのかかわり

保護者の話をよく聞いて、  
一緒に考えることを大切にしているよ。

必要な情報はその日のうちに報告!  
保護者が安心して学校に送り出せることを目指しています。



### 【実践例】

- ・家庭での児童・生徒の好きなことや笑顔になるエピソードや、暮らしの中での伸びを保護者から教えてもらえる機会を大切に、一緒に喜んだり笑いあったりしている。
- ・傾聴の姿勢を大事にし、悩みや相談にはできるだけ寄り添うことを大切にしている。
- ・保護者の立場に立って「どう思うだろう?」などと想像して、保護者が安心してやりとりできるようなコミュニケーション・行動を心がけている。
- ・遠回しにせず事実を伝え、やってしまったこと(悪いこと)を責めるのではなく、「今後どのようにしていくか一緒に考えましょう」と伝えている。
- ・学校で起きたことは、その日のうちに連絡帳や電話で保護者に伝えている。
- ・熱中症があるときやケガがあった時はすぐに対応し連絡を取るようにしている。
- ・管理職や各学部の教員と相談しながら、チームとしてかかわることで、安易に独自の判断をしないように気をつけている
- ・個人情報にかかわる文書のやりとりの際は、提出の際、必ず連絡帳へ一文記載し、提出日を学部でチェックしている。

## 地域とのかかわり

地域との連携・情報共有  
地域貢献・感謝の気持ちを大切に♡

### 【実践例】

- ・ジャンボタニシの除去活動など地域と連携しながら、地域貢献ができるよう心がけている。
- ・センター的機能の役割の中では、丁寧なやりとり、ニーズに合わせた話し合いになるように心がけている。
- ・児童・生徒が地域に支えられ成長していけるという視点を持つように心がけている。
- ・自分一人でも学校の印象としてとらえられることを意識しかかわるようになっている。

